

茨城県国際理解教育推進協議会

会長 川俣 勝慶 殿

## ワールドキャラバン国際理解教育実施報告書

学校名 茨城県立友部高等学校

担当教諭名 飯田 美穂子

「ワールドキャラバン」国際理解教育については、下記のとおり実施しましたので報告します。

### 記

実施日時	平成 23年 6月 30日(木) 13:00～16:00
対象学年と人数	1～3学年の希望者 26名
派遣講師名と出身国	タスファイエ・ガライヤ(エチオピア) 孫 ヒジョン(韓国) 田中 アルバ(ニカラグア)
活動の内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・コーディネーターの主導のもと、全体会として講師がそれぞれの国の簡単な紹介を行った。</li><li>・エチオピア・韓国・ニカラグアの3グループから2カ国を選んで、各国の文化・習慣等についての話を聞いた。(1グループ50分)</li></ul>
今回実施されたワールドキャラバンについて評価	事業に参加しての意見・感想 今年で4年目ですが、この行事を楽しみにしていて毎回参加している生徒も何人もいます。講師の方も民族衣装や楽器、CDやパソコンを使っの具体的な説明など工夫を凝らしてくださり、とても活発な活動でした。
生徒・保護者等参加者の感想	簡単なスペイン語の挨拶・数の数え方を教えてもらって新鮮だった。/ Rの巻き舌の発音などスペイン語がとても興味深かった。/ あいさつや学校のこと、地域によって違う民族衣装があることなどが分かって良かった(ニカラグア) / 韓国と日本の同じところ、違ったところに分かって良かった。/ 初めて知ることが多かった。学校と私生活が厳しいと思った。/ スクリーンを使いゆっくり説明してくれたので分かりやすかった。/ 韓国の文字の合理性が印象的だった。(韓国) / 文化の違いが分かって良かった。/ 自然や建築物や産業が日本と違うのに自然は似ていると聞き、興味を持った。そして、エチオピアに行きたいと思った。/ 太鼓などの楽器を実際に使えて楽しかった。/ いろいろな年齢の生徒がクラスにいるということは全員が同じように教育を受けられることではないのだということ知って考えさせられた。/ 文化や習慣の違いがわかったので話を聞けて良かった。(エチオピア)
先生の感想	希望者を募集したところほぼ3年生主体の26名となりました。男子の参加も多く異文化を学んで視野を広げていこうとする意欲を持って臨んでいました。この体験をきっかけに大学で文化交流学科や国際コミュニケーション学科などに進学する生徒もいるのではないかと思います。ひいては進路実現への一助になると思われます。 コーディネーターをはじめ各講師の方々の話は、すべて生徒たちを引き付けるものばかりでした。また太鼓やダンスなども実際に体験できて、参加者は皆とても貴重で満足度の高い時間を過ごすことができました。また、今回特別にサイパンの高校生からの震災に寄せたお手紙をコーディネーターの村尾先生から披露していただき、生徒たちは感動して読んでいました。 次の機会もよろしくお願ひします。

## ワールドキャラバン国際理解教育実施報告書

学校名 茨城県立友部高等学校

担当教諭名 飯田 美穂子

「ワールドキャラバン」国際理解教育については、下記のとおり実施しましたので報告します。

### 記

実施日時	平成 23年 11月 4日 ( 金 ) 13:00 ~ 16:00
対象学年と人数	1年3, 4組 66名
派遣講師名と出身国	チェン・ヤウン (台湾) シャ・フォエズ (バングラデシュ) マスクート・エブラヒム (イラン)
活動の内容	・コーディネーター主導のもと、分科会で講師がそれぞれの国の紹介を行った。 ・台湾・バングラデシュ・イランの3グループから2カ国を選んで、各国の文化・習慣等についての話を聞いた。(1グループ50分)
今回実施されたワールドキャラバンについて評価	事業に参加しての意見・感想 今秋は震災の影響で通常の行事が集中してしまいました。その結果、日程の関係で二クラスを3グループに分けて実施いたしました。例年の倍の人数でしたが、特に支障もなく終えることができました。来年もこのような形式で行いたいと思います。講師の方々には民族衣装や楽器、CD やパソコンを使っの具体的な説明など工夫を凝らしていただき、とても活発な活動でした。
生徒・保護者等参加者の感想	日本と同じ漢字の文化だが、亀の例をあげて旧字体を使っているのを知って印象に残った。/ 漢字が難しい漢字だった。/ 台湾へ旅行しているような感じがするプレゼンテーションだった。/台湾の自然や文化をわかりやすく映像を通して学ぶことができた。(台湾) / 日本とバングラデシュの学校生活の違いがわかった。/バングラデシュの若い人たちの遊びを紹介してもらったが、男性の遊びが日本のスイカ割りに似ていたり、女性の遊びが日本のハンカチ落としに似ていたりしたので、文化が違っても共通点があることが面白いと思った。(バングラデシュ) / イランはイスラム教なので飲酒ができないのは知っていたが、家庭では酒屋さんから配達してもらえるのが意外だった。また、都会では24時間お店が開いているところもあり、どこの国も都市は同じだと思った。/ 携帯電話の普及はイランでは日本以上に進んでいて、とくに目が見えない人用として、音声による道案内など進んでいる点が印象的だった。/日本が電気製品などは一番進んでいると思っていたがこの5年ぐらいの間にイランは進歩しているのがわかった。/イランは砂漠の国と思っていたらマスクート先生は一度もイランで砂漠に行ったことがないのを知って意外だった。(イラン)
先生の感想	例年の倍の人数で実施したが、特に問題はなかったと思われる。各国とも普段なじみのない外国だけにまずどこにあるのかという説明から始まり、その後は日本の高校生たちへのメッセージにいたるまで、さまざまな面で貴重な話を聞きました。 生徒たちは外国の生活文化を知ることによって世界の多様性をわかりやすく理解できたと思います。 コーディネーターの村尾先生は毎回本校に合わせた研修を企画していただき、大変お世話になっています。次の機会もよろしくお願ひします。



茨城県国際理解教育推進協議会  
会 長 川俣 勝慶 殿

## ワールドキャラバン国際理解教育実施報告書

学校名 茨城県立友部高等学校

担当教諭名 飯田 美穂子

「ワールドキャラバン」国際理解教育については、下記のとおり実施しましたので報告します。

### 記

実施日時	平成 23年 11月 10日（木） 13:00 ～ 16:00
対象学年と人数	1年1, 2組 66名
派遣講師名と出身国	タスファイエ・ガライヤ（エチオピア） マスクート・エブラヒム（イラン） 田中 アルバ（ニカラグア）
活動の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コーディネーター主導のもと、分科会で講師がそれぞれの国の紹介を行った。</li> <li>・エチオピア・イラン・ニカラグアの3グループから2カ国を選んで、各国の文化・習慣等についての話を聞いた。（1グループ50分）</li> </ul>
今回実施されたワールドキャラバンについて評価	<p>事業に参加しての意見・感想</p> <p>今秋は震災の影響で通常の行事が集中してしまいました。その結果、日程の関係で二クラスを3グループに分けて実施いたしました。例年の倍の人数でしたが、特に支障もなく終えることができました。来年もこのような形式で行いたいと思います。講師の方々には民族衣装や楽器、CD やパソコンを使っの具体的な説明など工夫を凝らしていただき、とても活発な活動でした。</p>
生徒・保護者等参加者の感想	<p>先生に誘われて、思いがけず民族音楽にのって踊ったが楽しかった。/ジャックというオモチャは今日本でも売っているが、実際にニカラグアの人が遊んで見せてくれたのを見ることができておもしろかった。/ 簡単なスペイン語の挨拶・数の数え方を教えてもらって新鮮だった。/ 日本人たちはほめられると謙遜するが、ニカラグアではほめられると素直に表現するところがちがうなと思った。/ 地域によって違う民族衣装があるところなどが分かって良かった。（ニカラグア）</p> <p>イスラム教の人がかぶるベールを見ることができたが、その他に日本と違ったところが分かって良かった。/イランの民族楽器の音色が素晴らしかった。楽器の仕組みも丁寧に説明してくれた。/イランの国のイメージは砂漠と思っていたが、スクリーンを使いゆっくり説明してくれたので分かりやすかった。（イラン）</p> <p>自然や建築物が日本と違うのに自然は似ていると聞き、興味を持った。そして、エチオピアに行きたいと思った。/太鼓などの楽器を実際に使えて楽しかった。/外国の人と直接話しが出来たし、恥ずかしがりで自分を表現しない日本人の特徴を外国の人から指摘されるとやはりそうなのかなと思った。/太鼓をたたかせてもらっていい経験になった。（エチオピア）</p>
先生の感想	<p>行事の関係で例年の倍の人数で実施したが、特に混乱もなかった。中学や高校で接する英語圏のALT と違って、あまりなじみのない国々の事情を直接その国の方から伺うことができ大変貴重な経験となりました。将来生徒たちは外国の生活文化に触れることがあった時、有意義に活かされると思います。</p> <p>コーディネーターの村尾先生は講師の先生方との仲介役として大変お世話になっております。次の機会もよろしくお願ひします。</p>

